

令和3年度第1回企画展

令和3年5月15日【土】

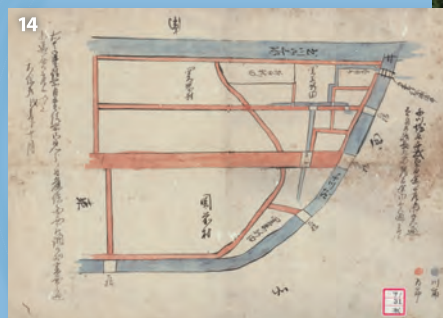
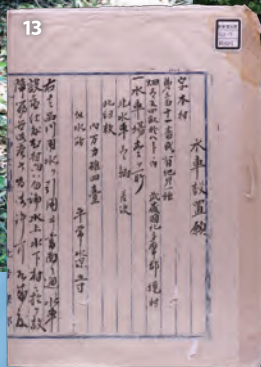
— 7月15日【木】 —

水と武蔵野



展示構成

- 01 水と武蔵野
- 02 武蔵野台地の地勢と水
- 03 井の頭池周辺の水利用 水場遺構（三鷹市丸山B遺跡）
- 04 古代の水利用 一井戸ー
- 05 武蔵野台地の井戸
- 06 雨乞いの聖地、井の頭を巡る伝説
- 07 武蔵野の村々と玉川上水
- 08 関前分水を用いて 一飲用と水車ー
- 09 村を隔てる水
- 10 村を結ぶ橋
- 11 玉川上水が結ぶ多摩と江戸
- 12 境浄水場
- 13 水の脅威
- 14 見える水・見えない水
- 15 備える水



12

井の頭池周辺や崖線沿いの湧水地付近には古くから人々の暮らしが営まれていましたが、武蔵野台地は水に乏しく、武蔵野と水は馴染まない言葉だと見られています。しかし、武蔵野の人々は水と関わりがなかったわけではありません。むしろ、水を求め、畏れ、利用し、管理することが武蔵野の歴史の側面でもありました。

今回の企画展は、原始古代から近現代までの市域を含めた武蔵野の人々と水とのさまざまな関わりを、当館の文化財指導員、学芸員、公文書専門員が考古資料や古文書、歴史公文書などを用いて紹介するオムニバス展示です。この展覧会が、武蔵野の歴史についての理解を深め、これからの環境や暮らしについて考えていただく機会となれば幸いです。

協力：武蔵野市水道部

関連イベント

オンラインでの関連講演会・展示解説などのイベントを企画しています。最新情報はホームページ、SNS等をご確認ください。
新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュールに変更が生じる可能性があります。ご理解、ご了承をお願いいたします。

[使用画像] 1= 井の頭池と井の頭弁財天（三鷹市）| 2= 玉川上水 境水衛所付近（武蔵野市）| 3= 井の頭恩賜公園お茶の水（三鷹市）| 4= 五ノ神まいまいず井戸（羽村市）| 5= 玉川上水 曙橋付近（武蔵野市）| 6= 関前水事人名簿 武蔵野市保管井口家文書 | 7= 玉川御上水通船揚場問屋連名控 武蔵野市所蔵平野家文書 | 8= 関前用水路不用地払下げ二付申請 武蔵野市保管井口家文書 | 9= 堀兼之井（狹山市）| 10= 更新橋の庚申塔（武蔵野市）| 11= 石橋供養塔（武蔵野市）| 12= 真姿の池湧水群（国分寺市）| 13= 水車設置願 武蔵野市所蔵秋本家文書 | 14= 関前新田普請所見分絵図 武蔵野市保管井口家文書 | 15= 境村内分水絵図 武蔵野市所蔵秋本家文書 | 16= 関前橋供養碑碑文案 武蔵野市保管井口家文書 |

武蔵野市立 武蔵野ふるさと歴史館

開館時間 午前9時30分～午後5時 休館日 金曜・祝日・年末年始 特別休館日

〒180-0022 武蔵野市境 5-15-5 Tel 0422-53-1811

E-mail: rekishikan@city.musashino.lg.jp

武蔵野駅より徒歩12分／ムーバス「武蔵野ふるさと歴史館」バス停下車すぐ／駐車スペースはございません（高齢者・車椅子ご利用の方はご相談ください）

